

教員養成セミナー 3月号
動画講義

12カ月完成
教職・一般教養
パワーアップノート

◆第2回◆教育心理
性格・適応

講師：古川聡

テーマ2

性格と適応

性格理論（愛知県 2018年）

次の各文は、性格に関する理論について述べたものである。関係の深い人物を選ぶとき、正しい組み合わせを選べ。

- A 胎児の胚葉の発達に見られる特徴に基づき、体型を**外胚葉型**、**内胚葉型**、**中胚葉型**に分類し、それぞれ**頭脳緊張型**、**内臓緊張型**、**身体緊張型**と称される3つの気質に対応するという考え。
- B 人間の心は、**イド（エス）**、**自我（エゴ）**、**超自我（スーパーエゴ）**の3つの領域から構成されており、各領域間の力関係の均衡が保たれることによって健全な精神状態が維持されるという考え。
- C パーソナリティは上位から「**類型**」「**特性**」「**習慣的反応**」「**特殊反応**」という**4層構造**をなしており、「**類型**」は2つの基本的因子からなるという考え。

語群 ア：シェルドン イ：クレッチマー ウ：フロイト エ：キャッテル
 オ：シュランガー カ：アイゼンク

- | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|
| 1 | A-ア | B-ウ | C-オ | 2 | A-ア | B-ウ | C-カ | 3 | A-ア | B-エ | C-オ |
| 4 | A-ア | B-エ | C-カ | 5 | A-イ | B-ウ | C-オ | 6 | A-イ | B-ウ | C-カ |
| 7 | A-イ | B-エ | C-オ | 8 | A-イ | B-エ | C-カ | | | | |

ポイント1：類型論と特性論

類型論・・・典型的ないくつかの型にあてはめる。わかりやすいが個人差を表しにくい。

特性論・・・具体的な特徴である特性の集合としてとらえる。個人差を表現しやすいが、容易に全体像を理解しにくい。

ポイント2：具体的な類型論

提唱者	理論の概要
クレッチマー	統合失調症、気分障害、てんかんの患者の体型を観察。細長型は分裂気質、肥満型は躁うつ気質、闘士型は粘着気質とした。
シェルドン	青年の体型に着目。外胚葉型は頭脳緊張型、内胚葉型は内臓緊張型、中胚葉型は身体緊張型とした。
ユング	リビドーが向かう方向から内向型と外向型に分類。
フロイト	イド、エゴ、スーパーエゴの力関係で性格像が異なると主張。
シュランガー	価値観の相違によって6つの型を提唱した。

性格検査（長崎県 2019年）

次の各文は、性格検査について述べたものである。該当する検査法を選べ。

- (1) **マレー**によって提唱された投影法検査。被検者に特定の絵カードを提示し、自由に**物語**を作らせ、その内容から対人関係や心理的葛藤等を分析する。
- (2) 被験者に一列に並んだ**隣り合う数値**を2個ずつ**連続加算**させる作業を行わせ、その作業量等を評価し、性格特性や適性などを診断する。
- (3) **コッホ**によって創案された投影法テストの一種。**実のなる樹木**を描かせ、根や枝などの描きかたや形を分析した結果から、性格や能力を測定する。

- | | | |
|----------------|----------|---------|
| ①ミネソタ多面人格目録 | ②P-Fスタディ | ③SPI |
| ④ソシオメトリックテスト | ⑤ソンディテスト | ⑥TAT |
| ⑦内田クレペリン精神作業検査 | ⑧バウム・テスト | ⑨HTPテスト |

ポイント1：性格検査の方法

質問紙法・・・用紙に記載された質問に順次回答し、機械的に集計する検査。

投影法・・・曖昧な刺激に対する反応の個人差を見る検査。

作業法・・・精神的な負荷がかかる作業をさせて適性を診断する検査。

ポイント2：質問紙法検査

検査名	開発者	特徴
矢田部ギルフォード性格検査（YG性格検査）	矢田部達郎	120個の質問に対する回答から12個の性格特性の強弱とバランスがわかる
ミネソタ多面人格目録（MMPI）	ハサウェイら	550個の質問に対する回答から性格の中の異常な面を浮き彫りにすることができる
エゴグラム	デュセイ	批判的な親、養育的な親、大人、自由な子ども、順応した子どもという5つの自我状態の強弱とバランスがわかる

ポイント3：投影法性格検査

検査名	開発者	特徴
ロールシャッハ・テスト	ロールシャッハ	左右対称の図が何に見えるかを問う
主題統覚検査 (TAT)	マレー	絵を見て過去から未来にわたる空想物語を語らせる
絵画欲求不満検査 (PFスタディ)	ローゼンツヴァイク	欲求不満場面に置かれた時に何と語り返すかを記載させる
バウム・テスト	コッホ	実のなる木を描かせる
家と木と人テスト (HTP)	バック	家と木と人の3つのモチーフを描かせる
文章完成法検査 (SCT)	エビングハウス	未完成の文章に言葉を補って完成させる

欲求（岡山県 2019年）

次の文は、人間の欲求に関する理論について述べたものである。（ ）に当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを選び。

マズローは人間の欲求を5つの段階に分け、下位の欲求が満たされたとき、上位の欲求が求められるという**階層説**を提唱している。根底には（ A ）欲求があり、ある程度満たされると続いて（ B ）欲求が現れる。この欲求が満たされると次に（ C ）欲求となる。そして（ D ）欲求が現れ、最後は行動すること自体が目標となる内発的動機づけである（ E ）欲求が現れてくる。

- (1) A安全 B承認・尊重 C自己開示 D自己実現 E社会的促進
- (2) A生理的 B安全 C承認・尊重 D自己開示 E自己実現
- (3) A安全 B所属・愛情 C承認・尊重 D自己開示 E自己実現
- (4) A生理的 B安全 C所属・愛情 D承認・尊重 E自己実現
- (5) A安全 B所属・愛情 C自己開示 D自己実現 E社会的促進

ポイント

欲求の階層説（階層構造説）とは

自己実現の欲求	・・・	青年期に現れる欲求
自尊の欲求	・・・	思春期に現れる欲求
所属と愛情の欲求	・・・	児童期に現れる欲求
安全の欲求	・・・	幼児期に現れる欲求
生理的欲求	・・・	乳児期に現れる欲求

防衛機制（岡山県 2019年）

次の各文は自我防衛機制について述べたものである。正しいものを○、誤っているものを×としたとき、その組み合わせとして適切なものを選べ。

- A 自己の評価を低下させるような感情や思考を、意識にのぼらないようにすることを「抑圧」という。
- B 自分の中にある社会的に望ましくない感情を、他者が持っていることにして責任を転嫁することを「合理化」という。 →合理化ではなく「投影」あるいは「投射」
- C 不安を感じさせる状況から逃れようとすることを「逃避」という。
- D 他者が持っている社会的に好ましい行動や態度などの特徴を、自分の中に取り入れることを「昇華」という。 →昇華ではなく「同一視」
- E 自己の評価が低下することを恐れて、自分の欲求や感情と正反対の態度や行動をとることを「反動形成」という。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|
| 1 | A○ | B× | C○ | D○ | E○ | 2 | A○ | B○ | C× | D○ | E× |
| 3 | A× | B○ | C○ | D× | E○ | 4 | A× | B× | C× | D○ | E× |
| 5 | A○ | B× | C○ | D× | E○ | | | | | | |

ポイント：防衛機制（適応機制）

機制の名称	特徴
抑圧	好ましくない欲求が表に現れないように蓋をしてしまう
逃避	現実から逃げる
合理化	もっともらしい理由をつける
補償	不得意な面を隠すかわりに得意な面を強く主張する
置き換え（置換）	達成が容易でことから別のものに入つ当たりする
取り入れ	威厳のある人の陰に入って自己の存在を主張する
代償	達成が容易なものに意識的にすり替えて満足を得る
反動形成	本来の欲求とは正反対の行動に出る
退行	幼い発達段階に後戻りする